

地域公共交通網計画の基本方針の考え方（素案）

○町民アンケート調査結果、運行事業者や宝寿荘施設管理者へのヒアリング等を踏まえ、地域公共交通網形成計画における基本方針の考え方（素案）を検討。

		現状	対応方針	基本方針の考え方（素案）
移動の実態	全町民の移動	<ul style="list-style-type: none"> □ 自家用車を利用する町民が9割弱である。【ア P2】 □ 移動の半数は町内で、隣接する羽咋市、かほく市への移動も多い。【ア P2】 □ 住む地区により目的地が異なる。（北部：志雄地区・羽咋市、中央：相見地区・羽咋市・かほく市、南部：相見地区、かほく市、金沢市）【ア P2】 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自家用車での移動が前提であり、移動先の半数が町外である。自動車利用を前提としたライフスタイルであるからこそ、自動車移動が十分にできない層の状況を確認していく必要がある。 ● 町外移動が多く、町外移動ができる唯一の公共交通である JR 七尾線を維持していく必要がある。 	<p>① 町内公共交通の充実と周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転免許返納者の増加等に対応し、高齢者が、運転免許が無くても安心して生活できるよう、公共交通の充実を検討する。 ・ 利用方法を知らない等の理由で町民の公共交通利用を阻害しないよう、丁寧な周知活動を検討する。
	うち、高齢者の移動（平日）	<ul style="list-style-type: none"> □ 8割以上が自家用車で移動しているが、全町民に比べ低く、家族の送迎なども増える。【ア P3】 □ 町内（相見地区、宝達志水病院、アルビス）や羽咋市内（石野町、羽咋病院）への移動が多い。【ア P3】 ○ 主要目的地の多くが、コミュニティバス、デマンドタクシーのルート上である。【ア P3】 △ 宝寿荘利用者が多く、送迎にはスクールバス2台以上が必要である。【ヒア】 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全町民に比べ、町内移動が多く、自家用車の利用率も下がることから、高齢者を対象に公共交通の利用促進が必要である。 ● 主要目的地が現公共交通網上にあるため、運行方法を工夫すれば町内でのニーズに概ね対応できると考えられる。一方、羽咋市への移動ニーズが高く、対応の検討が必要である。 ● 一定の需要がある、宝寿荘利用者の送迎に対応する必要がある。 	
交通手段の評価	公共交通全般	<ul style="list-style-type: none"> △ 70代以上の2割弱が、近い将来に運転免許返納を検討している。【ア P6】 □ 運転免許返納への不安があり、将来的に公共交通を利用したい町民がいる。【ア P5、7】 □ サービス改善をすれば、70代以上において、コミュニティバスでは約5割、デマンドタクシーでは約6割が利用を増やしたい、と考えている。【ア P6】 □ 高齢者の約半数が、サービス向上もしくは行政負担低減のための運賃徴収について、理解がある。【ア P6】 □ コミュニティバスの空車の状況等から、コミュニティバス廃止の意見がある。一方、デマンドタクシーを評価する意見がある。【ア P6、7】 △ 利用方法が分からない町民が一定層いる。【ア P5、6】 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転免許を返納しても安心して暮らせるよう、公共交通を充実させる必要がある。 ● 公共交通のサービス水準を高めることで、利用者の増加が期待され、約半数の町民が行政負担低減やサービス向上のための運賃徴収に理解を示していることから、公共交通の体制見直しや拡充を一定の町民の支持のもと進めることができる。 ● コミュニティバスよりもデマンドタクシーの運行を支持する意見がある。 ● 利用方法などを町民に分かりやすく伝える工夫が必要である。 	<p>② デマンドタクシーを軸とした公共交通体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティバス・デマンドタクシー双方に課題はあるが、デマンドタクシーを評価する意見があり、コミュニティバスの利便性向上が難しいことを受け、デマンドタクシーを軸とした公共交通体制の構築を検討する。 ・ デマンドタクシーの改善策としては、コミュニティバス、デマンドタクシー双方の課題を整理して検討する。
	コミュニティバス	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定時便であり、予約の必要がない無料の交通手段である。 △ 便数が少なく、利用しやすい時間帯を希望する声が多い（午前中の帰り便など）。【ア P5、7】 △ 町外ルート、より多くの停留所の設置を希望する声が多い。【ア P5、7】 △ 車体が大きく小回りがきかず、バス停位置に制約あり。また、乗り心地に優れない。【ヒア】 △ スクールバス利用であり、利便性向上が難しい（便数やルート拡大に難あり）。【ヒア】 □ 宝寿荘利用者が多く、宝達志水病院へ向かう方もいる。【運行実態】 	<ul style="list-style-type: none"> ● “バス”という気軽に使える交通手段であるが、町民ニーズ（運行時間やルート等の多様化）への対応は、スクールバス利用の制約上、難しい。なお、課題の多くが、デマンドタクシーの運行により対応可能である。 ● 宝寿荘利用者といった、まとまった利用ニーズに対応できる移動手段が必要である。 	
	デマンドタクシー	<ul style="list-style-type: none"> ○ デマンドタクシー利用者の約6割が、サービスに満足しており、コミュニティバスより満足度が高い。また、デマンドタクシーのサービスを評価する意見もある【ア P4、5、7】 ○ 普通車等のため、小回りがきき、ドアツードアで対応可。乗り心地に優れる。【ヒア】 △ 無料のコミュニティバスに比べ料金が高く、割引サービス等を期待する意見もある。【ア P5、7】 △ 利用しやすい時間帯の運行を希望する意見が多い（通院の帰り時間帯など）。【ア P5、7】 △ 羽咋市の一部エリアへの移動に対応しているが、更なる拡大を希望する意見がある。【ア P5】 □ 一部であるが、買物への同伴送迎など、介護福祉的なサービスを期待する意見がある。【ア P5】 △ 乗車人数が限られる為、集中的な需要（宝寿荘）には対応が難しい。【ヒア】 △ 予約が必要で、利用には若干のハードルがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● デマンドタクシーはルートに柔軟性があり、ドアツードアで対応可など、利便性が高い交通手段で、また、サービスを評価する町民の声があり、強化すべき交通手段である。 ● 料金システム、運行時間帯、羽咋市でのエリア拡大などの意見があり、対応を検討する必要がある。 	
	JR 七尾線	<ul style="list-style-type: none"> □ 改善要望の多くが JR との連携が必要なものであるが、駐車場利用や駅へのアクセス性に関するものも挙がっている。また、改善により若年層を中心に利用者増加が期待できる。【ア P4、6】 	<ul style="list-style-type: none"> ● JR に駅舎等の改善要望をしつつ、無料駐車場によるパーク＆ライドの周知や安心して駅にアクセスできることが必要である。 	
				<p>④ JR 七尾線の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町外への公共交通手段として重要であり、パーク＆ライドの利用方法の周知や駅への確実なアクセス性を確保するなど、利用促進策を検討する。